

発行・編集 (公財)あしたの日本を創る協会／全国生活学校連絡協議会 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号 日本青年館
 TEL: 03-5772-7201 FAX: 03-5772-7202 E-mail: ashita@ashita.or.jp URL: http://www.ashita.or.jp/

「食品ロスに関する実態調査」にご協力有難うございます

全国生活学校連絡協議会 食品ロス削減全国運動実行委員会

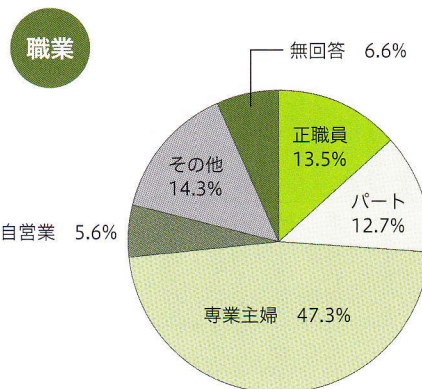
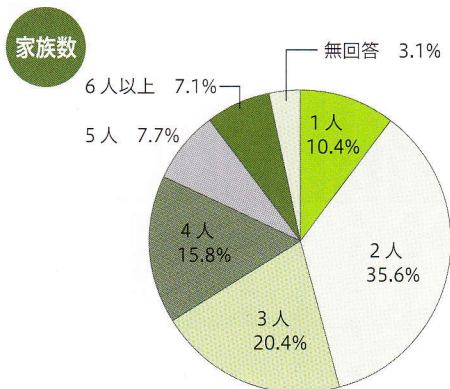
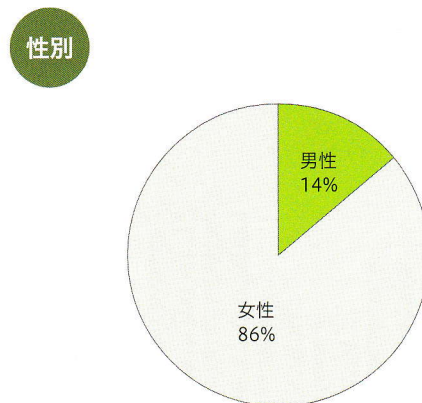
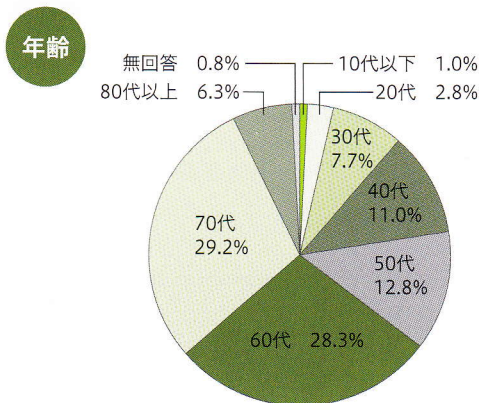
昨年10～11月に実施した「食品ロスに関する実態調査」に、10,309枚のご回答をいただきました。集計が完了しましたので、概略をお知らせします。7月9日に行われる全国大会の全国運動に向けた「食品ロス削減全国運動分科会」(仮称)でご意見、ご助言をいただきますようお願いいたします。

「食品ロスに関する実態調査」集計結果

配布枚数(13,071枚)

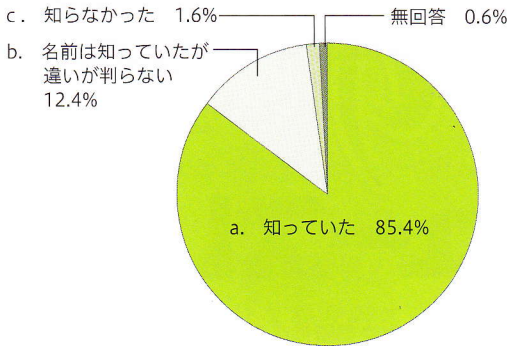
回収枚数(10,309枚)

回収率(78.9%)

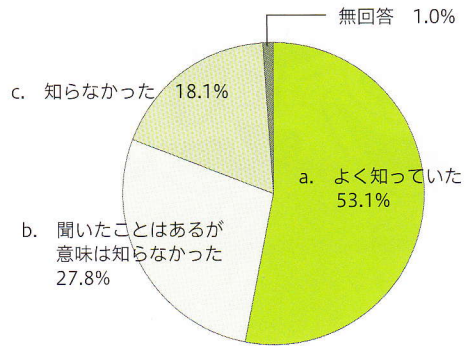


「食品ロスに関する実態調査」集計結果	1・2	食品表示学習会の実施について	5
平成26年度の助成事業について	3	新規開設生活学校・生活会議(平成25年度)	6・7
平成26年度主な事業について	4	生活学校の活動紹介	8
「新しい地域課題」の取り組み(平成25年度)	5	○東京都 いずみの会生活学校	

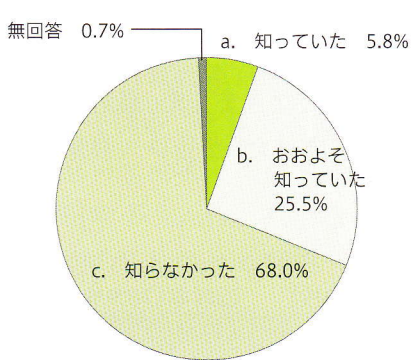
問1. 賞味期限・消費期限のそれぞれの意味を知っていましたか



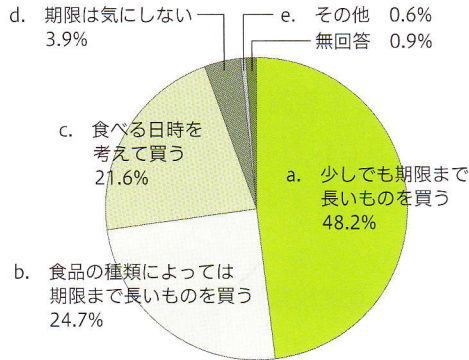
問2. 「食品ロス」という言葉を知っていましたか



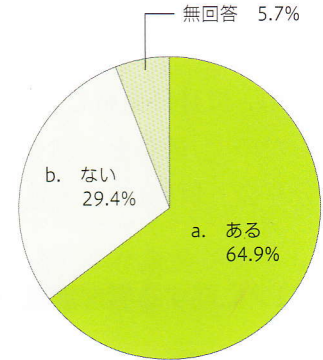
問3. 1年間に日本で発生する食品ロスの量を知っていましたか



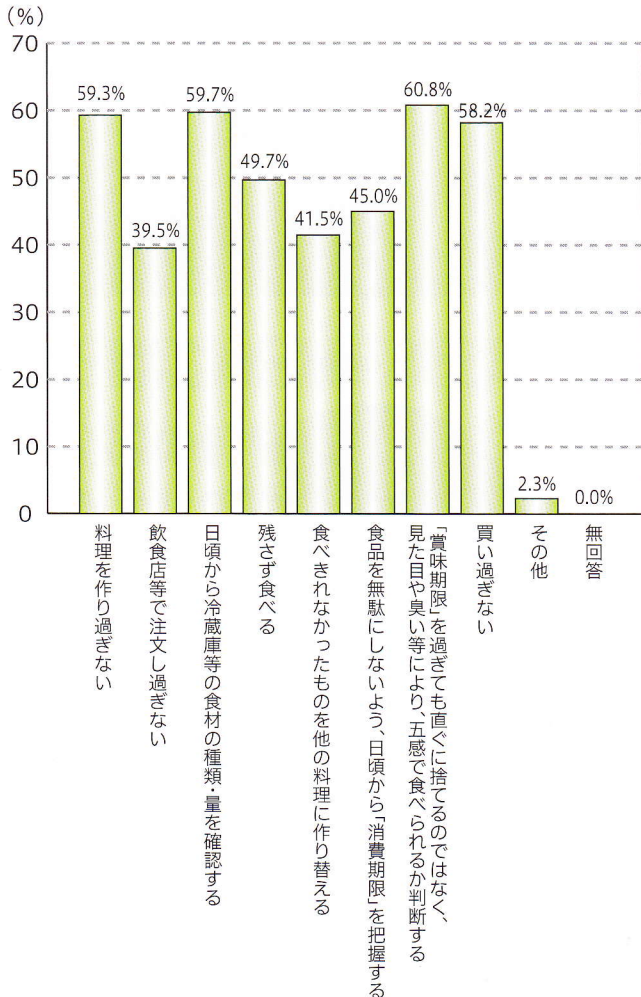
問4. 買い物時に消費期限・賞味期限をどの程度考慮するか



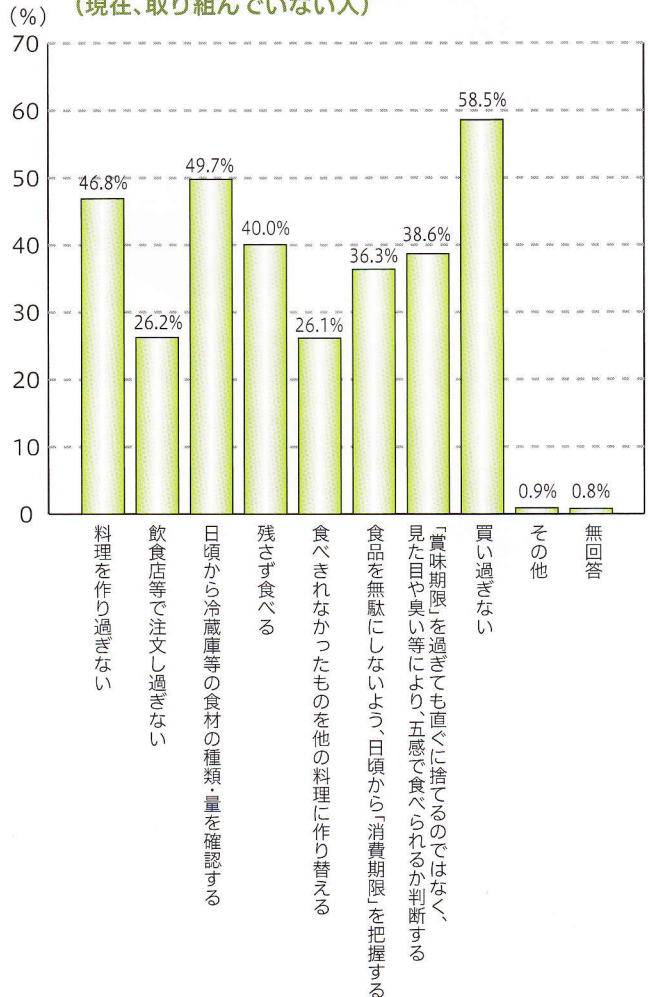
問5. 食品ロスの削減のために取り組んでいることがありますか



問6. 現在取り組んでいること(現在、取り組んでいる人)



問7. 今後取り組んでみようと思うこと(現在、取り組んでいない人)



■ 平成26年度の助成事業について（予定）

【新規事業】

平成26年度、新たに次の4つの助成事業を実施します。

1. 生活学校の他団体との連携事業 3万円

- ・助成先：各生活学校（原則）
- ・対象：生活学校が、生活会議や他団体と連携して実施する事業を対象とします。例えば、同じテーマについて、同一市町村内の生活学校と生活会議が連絡会を立ち上げ、生活学校・生活会議が連携して活動する経費などが該当します。

2. 新規生活学校の育成事業 2万円

- ・助成先：県協議会（県生活学校連絡会）
- ・対象：開設初年度の新規生活学校の育成に取り組む、県協議会または県生活学校連絡会を対象とします。育成の内容として、生活学校運動マニュアル（後日送付）をもとに新規校に研修していただくとともに
①運営事務能力の向上 ②活動資金の獲得 ③行政とのパイプづくり等について助言をお願いします。

3. 全国運動「食品ロス削減運動」 3万円（原則）

- ・助成先：各生活学校・生活会議
- ・対象：「食品ロス削減運動」に取り組む生活学校・生活会議の活動経費を対象とします。全国運動の内容については、7月開催の全国大会分科会および全生連総会において協議・決定し、その後、助成のご案内をお送りする予定です。

4. 食品表示への取り組み 3万円（原則）

- ・助成先：県生活学校連絡会（申請のあった石川、静岡、三重、和歌山、広島、長崎、鹿児島県の7県）
- ・対象：食品表示のアンケート実施、意見取りまとめ等の活動に関わる経費を対象とします。

【継続事業】（平成25年度と同様の内容）

1. 都道府県協議会の支援 15万円

- ・助成先：県協議会
- ・対象：①生活学校・生活会議の県大会や研究集会の開催
②広報・機関誌の作成
③生活学校・生活会議の活動状況の報告 など

2. 県大会・研究集会等への参加旅費の一部支援 上限3万円

- ・助成先：県協議会
- ・対象：生活学校・生活会議の県大会や研究集会等へのメンバーの県内参加旅費

3. 生活学校の廃校対策に要した旅費支援 実費

- ・助成先：県協議会（県生活学校連絡会）
- ・対象：前年度に、廃校対策のために現地まで説得・相談に出かけた際の旅費

4. 生活学校・生活会議の新規開設支援 3万円

- ・助成先：県協議会（県生活学校連絡会）
- ・対象：生活学校・生活会議の新規開設経費。3万円のうち、県協議会が新規開設に関わる経費に、上限1万円を充当することも可能

5. 開設2年目の生活学校・生活会議への支援 3万円

- ・助成先：県協議会（県生活学校連絡会）
- ・対象：①生活学校＝平成25年度開設の生活学校の活動経費
②生活会議＝平成25年度開設の生活会議の活動経費。但し、平成26年度に「全国運動」または「新しい地域課題」に取り組む団体のみ対象

6. 「新しい地域課題」への助成 3万円（原則）

- ・助成先：各生活学校・生活会議、県生活学校連絡会
- ・対象：各生活学校・生活会議の「新しい地域課題」の活動経費、および県生活学校連絡会の「新しい地域課題」事前調査活動費を主な対象とする

■ 平成26年度主な事業について (予定)

◎生活学校・生活会議運動全国大会

日程：7月9日(水)午後
 会場：東京都新宿区「日本青年館」
 内容：表彰式、分科会、交流のつどい

程度です。県大会や研究集会のプログラムとして、講座開催を希望される場合は、当協会までご連絡ください。

◎全国生活学校連絡協議会総会

日程：7月10日(木)午前
 会場：東京都新宿区「日本青年館」

◎あしたの日本を創る運動推進功労表彰

・生活学校・生活会議等の活動団体、および活動に参加する個人について、都道府県協議会からの推薦で表彰します。

◎ブロック研究集会

・東北・北海道

日程：9月3日(水)～4日(木)
 会場：山形県鶴岡市「ホテル八乙女」

・関東甲信越静岡

日程：調整中
 会場：東京都内

・中部・近畿

日程：10月29日(水)～30日(木)
 会場：兵庫県神戸市「チサンホテル神戸」ほか

・中国・四国

日程：10月下旬～11月で調整中
 会場：愛媛県松山市

・九州

日程：10月16日(木)～17日(金)
 会場：大分県大分市「ホルトホール」

◎あしたのまち・くらしづくり活動賞

・募集期間：4月～7月上旬(予定)
 ・表彰式：11月29日(土)
 東京都新宿区「日本青年館」
 ・全国の地域活動団体の活動を顕彰する事業です。当協会から募集チラシをお送りしますので、生活学校・生活会議のご応募、および地域の地域活動団体への呼びかけをお願いします。

◎市区町村が実施する助成・補助金事業の情報提供(生活学校向け)

・生活学校の地元市区町村における助成・補助金事業の実施状況について調べ、各生活学校に情報提供します。行政に向けた協力依頼文書「生活学校への支援のお願い」とあわせて送付する予定です。

【その他の事業】

◎生活学校研修講座の開催

・当協会職員より、生活学校の基本的な考え方や運動の進め方を説明し、活動の現状と課題について話し合う時間とします。時間は約1時間半

◎諸資料の提供のお願い(随時)

・活動が掲載された新聞記事、総会資料、広報誌など、生活学校・生活会議の活動状況がわかる資料がございましたら、随時ご提供をよろしくお願ひします。

ファミリーコスロン



交換用フィルター
(30個)1,000円

油を捨てない
オイルポット

ファミリーコスロン
(フィルター10個付) 3,500円

油をムダなく使う道具

使い方簡単：少し冷めた油を入れ
継ぎ足し使用するだけ

静岡県生活学校連絡協議会が
推進しております
<連絡先>

平松 節子
TEL 053-461-6966
FAX 053-461-6969

<http://www.rakuten.co.jp/marugo/info.html>

■「新しい地域課題」の取り組み（平成25年度）

平成25年度「新しい地域課題」については、県生活学校連絡会は7団体、生活学校は13校において取り組みがありました。

なお、平成26年度においても本事業を実施します。「今まで取り組んできた活動を一步進めて、こんなことに取り組みたい」という観点から、活動を計画していただき、本事業への申請をお願いします。

県生活学校連絡会

	都道府県名	団体名	内容
1	茨城	茨城県生活学校連絡会	食品ロス問題の取組
2	千葉	船橋市生活学校運動推進協議会	郷土食文化の伝承
3	東京	東京都生活学校連絡協議会	一般家庭のフードロス減少をめざして
4	福井	福井県生活学校連絡協議会	減らそうCO ₂ 廃アルミから新エネルギーを考える
5	山梨	山梨県生活学校連絡会	身近な災害・防災に関する消費者行動のあり方
6	岡山	岡山県生活学校連絡協議会	「食品ロス削減」の啓発活動
7	大分	大分県生活学校運動推進協議会	①防災と非常食 ②食品ロスの実態を探る

各生活学校

	都道府県名	市区町村名	団体名	内容
1	宮城	栗原市	築館生活学校	地域中学校図書館ボランティアに参加、子どもたちの交流を図る
2	山形	庄内町	余目生活学校	T P P、風評被害、高齢者の認知症予防への取り組み
3	茨城	行方市	玉造生活学校	省資源リサイクル
4	埼玉	蕨市	蕨ひがし生活学校	減らそう！「フードロス」
5	埼玉	熊谷市	めぬま生活学校	災害に備えた防災対策
6	新潟	長岡市	小国生活学校	世代交流を実現 楽しく作ろう折り紙アート
7	福井	坂井市	梨の郷生活学校	廃アルミからエネルギー再生を考える
8	三重	鳥羽市	鳥羽市生活学校	これからの人生を生き生き健康に過ごす
9	滋賀	野洲市	野洲生活学校	子どもたちとコミュニケーションを持ち地域の活性化を図る
10	兵庫	神戸市	井吹生活学校	食と環境の勉強
11	愛媛	新居浜市	グループさつき生活学校	食品ロスと食料自給率についてのアンケート調査を実施
12	熊本	宇土市	宇土市生活学校	食品ロスの削減に取り組む
13	鹿児島	始良市	蒲生生活学校	高齢者支えあい運動「声掛けで絆を深める町づくり」

■食品表示学習会の実施について

開催日	開催地	団体名
平成26年 2月 3日(月)	長崎県佐世保市	長崎県生活学校連絡協議会
2月 14日(金)	三重県津市	三重県新生活運動推進協議会
2月 16日(日)	広島県福山市	広島県生活学校連絡協議会
3月 14日(金)	鹿児島県鹿児島市	鹿児島県生活学校運動連絡会
3月 19日(水)	石川県金沢市	石川県生活学校連絡会
3月 24日(月)	静岡県浜松市	静岡県生活学校連絡協議会
5月 14日(水)	和歌山県和歌山市(予定)	和歌山県生活学校連絡協議会

■ 新規開設生活学校・生活会議（平成25年度）

平成25年度に、新規開設された生活学校と生活会議について紹介します。これからの新しい活発な活動に期待します。

生活学校

	都道府県名	市区町村名	団体名	人数	内容
1	宮城	仙台市	若林区荒浜生活学校	20	震災により離れ離れになってしまった住民のつながり、助け合い、今後の発展を願い、生活学校を立ち上げることにした。仮設住宅の方々、みなし仮設の方々との交流の場を設けて、孤独な1人暮らしの方々との話し合いなど、広げていきたい。
2	秋田	能代市	上町すみれ会	11	いきいきした地域社会づくり活動 ・女性の視点から、美化活動、各種講座、まちなか美術展などを開催
3	秋田	大仙市	いろりの会	14	どんぐり文庫へ行こう ・図書館のない地域に移動文庫を開設したり、読み聞かせを通して子どもたちをはぐくむ活動
4	群馬	沼田市	沼田市電車道生活学校	23	電車道サロンの常設 ・介護予防教室、環境フォーラム、ランチ交流会、孫と創る絵手紙年賀状、リフォーム講習会等の実施 ・老人介護施設訪問 ・震災復興支援活動バザー
5	千葉	船橋市	なつみ生活学校	34	暮らしに密着した課題の学習とそれに伴う運動
6	富山	富山市	上滝なかよし会生活学校	12	高齢者をはじめ様々な地域住民が気軽に集い、交流できる場づくり ・毎週木曜に子育てサロンを開催 ・毎週水曜に朝市を開催 ・月1回ギャラリー展示開催 ・月1回食事会の開催 ・趣味の教室開催
7	石川	中能登町	中能登生活学校	23	地域のつながりを強める ・地域課題についての座談会・学習会 ・メンバーの体力づくり ・老人や子どもたちへの声かけ
8	和歌山	岩出市	高塚生活学校	5	ゴミを分別回収 牛乳パックを利用し、紙漉きを保育園児に体験させる 道路や空き地のゴミを回収し美化を進める 地域見守り隊に参加
9	兵庫	神戸市	西活動連絡会	10	地域連携と活性化のため研修会等を実施する ・老人施設の見学およびわかりやすい資料作成 ・NPO設立の勉強会 ・その他（課題）の研修会
10	岡山	岡山市	つくし生活学校	5	高齢者を中心とした活動 ・毎週月曜日に、集会所において地域の高齢者が集まり、お茶を飲みながら、高齢者向きの様々な活動をする ・ノーレジ袋の活動に協力する
11	岡山	岡山市	NEWさくら生活学校	12	高齢者を中心に、地域とともに歩む ・毎週水曜日に、町内の集会所において地域の高齢者を集め、手芸、今まで着用していた洋服の傷みをなおす。また、近くの公園へ出向き、運動がてら草取り、清掃等を行う ・岡山市北区表町3丁目の通りで、「私（洋服等）を捨てないでもう一度愛して」をテーマに、フリーマーケット等を実施する ・ノーレジ袋、ストップザ温暖化、食品ロスをなくそう等社会問題について研修を深める
12	広島	福山市	福山市高美台生活学校 坂道	10	高齢化率 33%の 225 世帯の団地の中で、1人暮らし老人の見守り、居場所づくりを目的とした「茶屋」を開設し、子どもたちを含め親子三世代と団地の活性化を目指している。週2回（水、土）10時～15時開店 会員2名のローテーションで活動予定 ・コーヒー、お茶の提供 ・一人暮らし老人を対象に旬の地産品の手作り料理でもてなし ・安否確認のため、宅配も含めて年4回、三世代で実践する ・自治会等コミュニティ行事へ参加

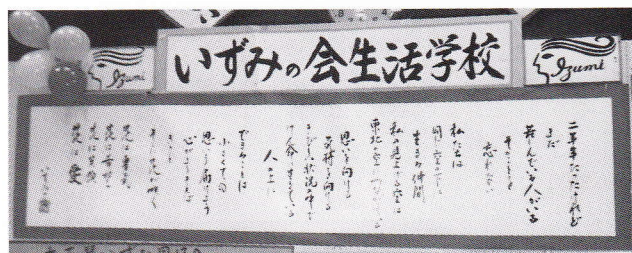
生活会議

	都道府県名	市区町村名	団体名	人数	内容
1	東京	東久留米市	団塊くるねっと生活会議	25	団塊世代の地域デビューの支援活動 ・団塊シンポジウム、団塊サロン、団塊体験講座等の開催 ・近隣市の団体との交流会
2	神奈川	横浜市	いきいきサロン鴨居	30	高齢者の地域居場所サロン ・毎月2回開催 ・スタッフ-毎日3名で対応 ・催事-年間5~6回開催
3	神奈川	相模原市	NPO法人 学びサポート研究会	17	生涯学習を助ける事業を行い、生涯学習社会の構築に寄与する ・エイジレスライフのすすめ-6回 ・心とからだを元気にするコミュニケーション講座-5回
4	富山	富山市	猪谷関所飛越 生活会議	14	地域の活性化と地域住民の親睦融和の向上 ・地域住民総出の「猪谷関所飛越ふれあい祭り」の開催を計画
5	富山	高岡市	早川古代米研究会 生活会議	12	古代米の栽培研究と古代米植え付けの普及・拡大 ・古代米の栽培・生産の実践 ・古代米の田植え ・収穫作業を、地元小学生とともに行い、食農体験教育の実施 ・古代米を活用した収穫祭・試食会の実施 ・地域の朝市での古代米の販売
6	山梨	山梨市	グリーンコンシュー マー運動推進ネット ワーク	12	生活廃棄物の減量化と再活用運動の推進 ・基礎学習 ・県民の実態調査実施 ・廃棄物処理場の視察 ・講演会 ①食品ロス削減と活用について ②対話集会
7	兵庫	伊丹市	昆陽南公園苗穂を 活用する会	34	地域や子供たちと取り組む花壇づくり ・花壇の維持管理、公共施設30か所への花苗の供給 ・種子まき、育苗など会員が3班編成で毎日実施 ・環境に配慮して枯葉や花の残差を堆肥化し、花壇に活用 ・ポット苗の生産量は年間15,000ポットになり、昆陽南公園を彩り憩いの空間を創りあげている ・学校、園などの花壇づくりも支援し、地域の交流を深めている
8	熊本	宇土市	中澄会生活会議	20	親子で学ぶ論語教室と、地域への奉仕作業 ①親子、他人、他団体との交流 ②地域への貢献活動（環境美化運動） ③未来への提言（子供たちの主張提言）
9	鹿児島	鹿屋市	細山田校区子ども会	13	青少年活動（子ども会）を中心とした地域力の再生 ・毎月第3土曜を活動日 ・美化清掃活動 ・校区夏祭り
10	鹿児島	霧島市	姫城しゅじゅどん会	24	米、そばづくりを通して、異世代交流と食育に取り組む
11	鹿児島	薩摩川内市	清色地区 コミュニティ協議会	580世帯	安心・安全で潤いと活力に満ちた共生・協働の町づくり ・防犯パトロール、美化清掃活動

文化祭で東北支援活動

東京都 いずみの会生活学校

東京都あきる野市「いずみの会生活学校」（千田洋子代表）は、2013年11月1日、2日に開催された同市文化展に出展し、会場の秋川体育館の壁面に手作りの大きなひまわりのオブジェを飾り、東日本大震災復興支援を呼びかけた。宮城県内の仮設住宅者の人たちが手作りした「ひまわりアクリルたわし」を販売し、1個250円で200個を完売。既に1200個を販売しており、千田代表は「被災地から遠く離れた東京からでも被災者のみなさんにエールを送ることはできます。私たちは3・11を決して忘れません」と話す。会場には、いずみの会の廣田幸子さん作、福沢昌子さん書の「私たちは同じ空の下に生きる仲間 私の見上げる空は東北



の空につながっている」と続く被災者に向けた詩も飾られた。

同会は、小学校のPTAとOBが主体となり、約30年前に発足。現在、女性100人が、女性の視点でできる社会活動や青少年の育成などに取り組んでいる。また、月初めに発行している小冊子「いずみ」は、毎回、15～20人の会員が集まり、打ち合わせや事業報告や反省、意見交換を行なうなど、情報が満載。会員の手による活動の結晶、小冊子「いずみ」も4月に300号を迎える。



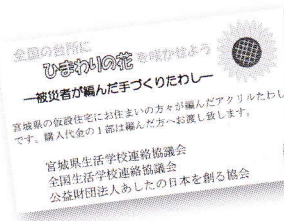
全国の皆様、いつもお元気で運動にご協力いただき心より感謝申し上げます。

ご協力いただいております「アクリルひまわりタワシ」販売活動も皆様のお力のお陰で、5万6千個近い実績をあげさせていただいております。

製作は昨年12月で打ち切りましたが、現在3千5百個の在庫を抱えております。

皆様方との絆が、これからのひと頑張り力となって「有終の美」を飾り、微笑みあいたいと思います。

どうか最後の販売にお力をお貸し願います。



全国生活学校連絡協議会